

宮城県仙台第三高等学校 [全日制課程 (普通科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県仙台第三高等学校は、「心身の健康、真・善・美 (広く調和のとれた教養) の追求、愛と知の稔り (感謝と自他尊重の精神および知的態度)」を建学の精神とし、逞しく豊かな人間性や深く探究する態度を身につけ、よりよき未来を創出できる人材を育成します。これまでのSSH (スーパーサイエンスハイスクール) の学習を継続・発展させ、地域の大学・研究機関・企業と連携し、持続可能な実習フィールドの開発と利活用に取り組むとともに、地域青少年の科学リテラシー向上に寄与する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

本校では「建学の精神」に基づき、以下の6つの「資質・能力」を育成します。

- ① 自己管理能力：心身の健康を維持するために、健全な生活習慣を身につけ、様々な壁を柔軟に乗り越えるしなやかさを持つ。
- ② 信頼構築力：相手の立場をおもいやり、尊重し、互いに信頼関係を築くことができる。
- ③ 自己研鑽力：人類が築き上げてきた真理を重んじ、それを教養として身につけることを通して、自らの資質・能力を高めようとする。
- ④ 課題突破力：困難な課題に立ち向かい、解決するために、個人の資質を高め、チーム一丸となる実力を持つ。
- ⑤ 未来デザイン力：未知なるものに立ち向かうために、自己の可能性や周囲の可能性を信じ、能動的に知性を高め行動していく。
- ⑥ 社会牽引力：他者理解力・思考力など総合的な判断力をもって、集団を牽引し、社会貢献し、共生して生きていくこと。

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

科学技術を活用できる人材を育成するため、数学、情報、倫理などを含めた教科融合科目を設定し、統計処理に必要なデータ分析を経験するとともに、社会倫理と社会貢献について学習します。特に科学的な探究活動では、ESD やSDGs など身近な社会問題のテーマを設定し、産官との連携、ユネスコスクールのネットワークを生かした国際交流と共同研究により、得られた課題の解決策を提案します。これらを学ぶことで、新たな課題を提示し科学技術を有効に活用できる人材を育成します。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 主体性を持って様々なことに取り組み、自律的・能動的に高校生活を送る生徒
- 基礎学力が身につけており、学習に対して強い意識を持ち続ける生徒
- 社会的問題や哲学的課題などを、広い視野をもって捉え、総合的な判断ができる生徒
- 論理性の高い自己の意見をもちつつ、多様な人々と協調し、問題発見・解決に向かう生徒
- 部活動や生徒会活動に積極的に取り組み、高いレベルでの文武両道を達成できる生徒

学校名	宮城県仙台第三高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	普通科	募集定員	240人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	なし	
	共通選抜		
	募集人数	192人（募集定員の 80 %）	
	学力検査:調査書	7 : 3	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は7 : 3とする。		
	特色選抜		
	募集人数	48人（募集定員の 20 %）	
	配点	1 調査書 195点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を1.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計
		2 学力検査 750点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を1.5倍にする	945点
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する48人の200%の範囲に含まれる者（96人）を対象として行う。 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 225点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	525点
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県仙台第三高等学校 [全日制課程 (理数科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県仙台第三高等学校は、「心身の健康，真・善・美（広く調和のとれた教養）の追求，愛と知の稔り（感謝と自他尊重の精神および知的態度）」を建学の精神とし、逞しく豊かな人間性や深く探究する態度を身につけ、よりよき未来を創出できる人材を育成します。これまでのSSH（スーパーサイエンスハイスクール）の学習を継続・発展させ、地域の大学・研究機関・企業と連携し、持続可能な実習フィールドの開発と利活用に取り組むとともに、地域青少年の科学リテラシー向上に寄与する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

本校では「建学の精神」に基づき、以下の6つの「資質・能力」を育成します。

- ① 自己管理能力：心身の健康を維持するために、健全な生活習慣を身につけ、様々な壁を柔軟に乗り越えるしなやかさを持つ。
- ② 信頼構築力：相手の立場をおもいやり、尊重し、互いに信頼関係を築くことができる。
- ③ 自己研鑽力：人類が築き上げてきた真理を重んじ、それを教養として身につけることを通して、自らの資質・能力を高めようとする。
- ④ 課題突破力：困難な課題に立ち向かい、解決するために、個人の資質を高め、チーム一丸となる実力を持つ。
- ⑤ 未来デザイン力：未知なるものに立ち向かうために、自己の可能性や周囲の可能性を信じ、能動的に知性を高め行動していく。
- ⑥ 社会牽引力：他者理解力・思考力など総合的な判断力をもって、集団を牽引し、社会貢献し、共生して生きていくこと。

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

発見・発明型の科学技術人材を育成するため、数学、理科、英語に重点を置いた科目に加えて、情報、倫理、芸術などを含めた教科融合科目を設定し、仮説と実験・調査などの必要なデータ分析を経験するとともに、研究倫理や先端研究での社会貢献について学習します。特に科学的な探究活動では、大学や研究機関と連携して研究を進め、得られた研究成果をコンテストや学会で国内外に発表します。これらを学ぶことで、基礎研究を充実拡大し新しい科学技術を生み出す人材を育成します。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 主体性を持って様々なことに取り組み、自律的・能動的に高校生活を送る生徒
- 基礎学力が身につけており、学習に対して強い意識を持ち続ける生徒
- 数学、理科の分野について、高い関心と適性をもち、強い探究意欲を有する生徒
- 課題解決のために、粘り強く対象に取り組む生徒
- 部活動や生徒会活動に積極的に取り組み、高いレベルでの文武両道を達成できる生徒

学校名	宮城県仙台第三高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	理数科	募集定員	80人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	普通科	
	共通選抜		
	募集人数	56人（募集定員の 70 %）	
	学力検査:調査書	7 : 3	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は7 : 3とする。		
	特色選抜		
	募集人数	24人（募集定員の 30 %）	
	配点	1 調査書 195点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を1.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計 1045 点
		2 学力検査 850点 国語、社会、英語 : 得点を1.5倍にする 数学、理科 : 得点を2.0倍にする	
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する24人の200%の範囲に含まれる者（48人）を対象として行う。 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 225点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計 525 点
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	